



夏ネギ収穫最盛期へ ～目揃え会で規格統一～

JAあきた白神ねぎ部会は7月18日、夏ネギの収穫最盛期を目前に、目揃え会を開催し、部会員や市場関係者など約60人が市場動向や出荷規格の確認をしました。

目揃え会では規格ごとに並べた段ボールの現物を手にとり、曲がりや白根の長さ、葉の状態を確認し、市場関係者と意見交換しました。

今年は「白神ねぎ」ブランドとしての品質検査を徹底し、更なる品質向上を図りながら初の販売額20億円の大台突破を目指しております。



規格を確認する生産者ら

白神米で強い体を ～能代科学技術高校へ「あきたこまち」「白神ねぎ」贈る～

能代市と当JAは8月1日、能代科学技術高校バスケットボール部に「あきたこまち」と「白神ねぎ」を贈呈しました。

能代市のバスケの街づくり事業の一環で実施しているもので、バスケット部員のうち、親元を離れてバスケットに打ち込む、寮生や下宿生22人に対し、一人当たり1俵（60kg）を贈ったもの。

同校体育館で行った贈呈式では、齊藤市長から学校長へ、あきたこまちが手渡され、組合長からはバスケットボール部部長の品田起虎君に、全国制覇に向けて強い体を作り、活力になるようにと思いを込めて「白神ねぎ」10ケースを贈呈しました。



早期出荷を呼び掛けた大高部会長

みょうが良質出荷へ ～目揃え会で規格確認～

みょうが部会は7月30日、生産者や市場関係者ら35人が参加して、収穫・出荷の最盛期を目前に控えた目揃え会を開催しました。今年は夜温が高かったことから生育は順調に進んでおり、平年より1週間程度進んでおります。

目揃え会では県農業振興課より「生育状況や病害虫防除については収穫期であり、農薬使用には注意するように」と、呼び掛けておりました。

また、出荷規格やバック詰める際の注意点など入念に確認し、良質出荷を申し合わせました。

吉等賞1席に市川さん ～第52回成牛品評会～

畜産部会は7月4日、第52回成牛品評会を藤里町宮大野岱放牧場で開催しました。

品評会は優秀な繁殖雌牛の育成と出品者の技術養成、飼育管理技術の向上を目的に開催。管内から選抜された出品牛23頭の中から市川秀人さんの「ゆりたから」が最高賞の吉等賞1席に輝きました。

その他の吉等賞牛生産者は次のとおりです。

◇吉等賞Ⅱ2席 小森正博  
「はなまさかつ」  
Ⅲ3席 加藤「ミ」なつこ  
Ⅳ4席 小森正博「ふじこまろ」



厳正な審査を受ける出品牛



全国制覇を目指す能代科学技術高校バスケットボール部



真剣に札刺みに取り組む参加生徒

JAの仕事体験 ～高校生が職場体験～

JAでは7月下旬、能代松陽高校から1名、能代科学技術高校から3名をインターン生として受け入れました。市内の高校ではインターシップ（デュアル就業実習）学習で、企業の職場体験を行っており、当JAでも毎年インターン生を受け入れています。

学習ではJA業務紹介の後、管内施設紹介や各事業について説明。業務体験では信用事業で金庫室見学や実際に札刺を体験。生徒らは慣れない手つきで、札刺しながら業務に興味を示しておりました。

白神りんどうフェア ～特価販売キャンペーン～

白神りんどう部会の販売キャンペーン「白神りんどうフェア」が7月7日、藤里町民体育館で開かれました。

会場では収穫期を迎えたばかりの白神りんどうを特別価格で販売したほか、お花屋さんによる「りんどうフラワーアレンジメント教室」も同時開催しました。

当日は雨天により会場を移しての開催となりましたが、会場では暑い日が続く中で涼感を感じさせる「白神りんどう」を買い求める来場者も多かったです。



初夏のりんどうを地域住民にPR



県内初のコンバインに試乗



参加者による出発式のテープカット



農業に対する抱負を語る柴田さん

共同購入コンバイン出発式開催

JA開発、低価格実現

秋田県内で初めてとなる共同購入コンバインが、当JA管内の生産者へ引き渡されるのを記念し、7月19日に能代農機センターで出発式が行われました。

出発式には購入者の柴田清一郎さんやJAの関係者など約30人が出席しました。

コンバインの共同購入の取組はJAグループで全国7千人以上の生産者の要望をとりまとめ、生産者の声をもとに仕様が決定されています。厳選された必要な機能に絞ることと、購入価格は現行の4条50馬力クラスのコンバインと比較して、おおむね15%程度の引き下げが実現しております。当JAでは今後とも低コスト農業機械の利用促進を図ってまいります。

淳城西小・第3回畑作体験

ジャガイモ豊作 ~児童に笑顔~



生き生きと体験する児童たち



ホクホクのじゃがバターに大喜び

淳城西小の畑作体験が7月16日開催され、5年生が4月に定植したじゃがいもの収穫と試食を楽しみました。

収穫作業は児童たちが割り振られたじゃがいもの株を、女性部員などに手伝ってもらいながら掘り進めました。今年は豊作で取れたじゃがいもを友人と見比べたりと終始、笑顔で収穫を楽しんでいました。

収穫後は、じゃがバターとして調理して振る舞ったほか児童1人当たり10個プレゼントし喜んでおりました。



能代営農センターとりにある圃場案内板



たくさん収穫出来たと山盛り



じゃがいもの収穫を楽しんだ児童の皆さん



プレーを楽しむ参加者

グラウンドゴルフで交流深める

~年金友の会大会~

年金友の会主催の第19回グラウンドゴルフ大会が7月12日開催。会員ら33名が参加し、日頃の練習の成果を發揮し、元気にグラウンドゴルフを楽しみました。

本大会で入賞した上位10名は10月に開催される「JAバンクあきたGゴルフ大会」にJA代表として出場します。

結果はつぎのとおりです。

- ▽1位 佐々木 宮子(藤里)
- ▽2位 淡路 龍美(藤里)
- ▽3位 石田 三オ(藤里)
- ▽4位 金野 エエ(二ツ井)
- ▽5位 工藤 金一(のし北)



開会式であいさつをする組合長



狙いを定めて打球



みどりの広場生放送でブース紹介



白神ねぎPRする「あきた」テレビ女医

JAみどりのにぎわい広場 ~白神ねぎPR~



白神野菜を販売したブース

「JAみどりの広場」放送開始50周年記念企画として「JAみどりのにぎわい広場」が7月13日開かれ、当JAからも「白神ねぎ」などの農林産品を出品し販売しました。

イベントは秋田テレビの開局55周年事業、なかいちミルハス夏のワクワク3day」において「JAみどりの広場」の生放送とタイアップして、JA各グループがブースを設けて参加して行われたものです。

当JAのブースでは「白神ねぎ」「白神トマト」「白神ねぎラー油」を出品。多くの来場者が訪れお買い上げいただきました。

